



問題15

皮膚の解剖 □□□

解法の要点

解説



①巻 p.432

基本事項

皮膚に関して、正しいのはどれか。

1. 皮膚表面は弱酸性である。
2. アポクリン汗腺は足底部に存在する。
3. 乾燥時には脂腺からの皮脂分泌が増加するため、被刺激性が亢進する。
4. 皮脂の分泌量は老年期に増加する。

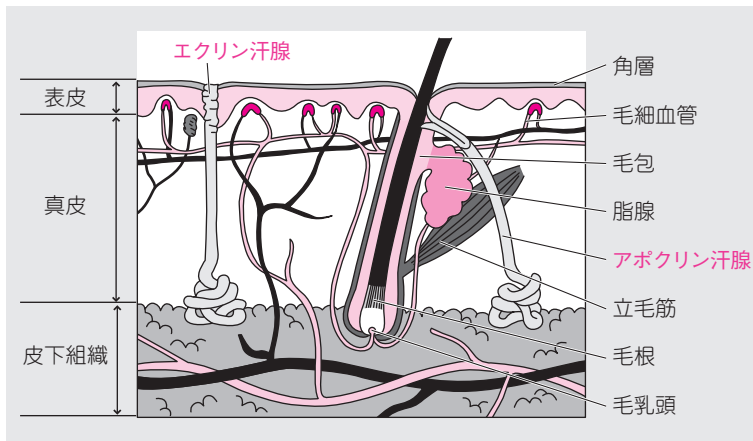
Ⅱ-10Ad

皮膚の解剖生理に関する問題である。皮膚にどんな役割があるのか、基本的な事項をおさらいしておこう。(RB-02.3/RB-02.3)

- 1 皮膚の表面はpH5.5～7.0の弱酸性に保たれているため、皮膚感染などに防御的にはたらくている。
- × 2 汗腺にはアポクリン汗腺とエクリン汗腺の2種類がある。アポクリン汗腺は足底部には存在せず、外陰部、腋窩、乳輪、乳房、肛囲に分布している。一方、エクリン汗腺は手掌、足底、腋窩や体幹に多く分布するが、外陰部などには存在しない。
- × 3 乾燥時には皮脂の分泌が減少し、皮膚刺激に防御的に作用する皮表膜が形成されにくい。そのため、皮膚の被刺激性が亢進する。皮表膜は弱酸性で殺菌作用を有し、また不感蒸泄を抑制することで保湿機能を保つ働きがある。
- × 4 加齢に伴い、体幹、四肢の皮脂分泌や発汗機能は減少し、皮膚バリア機能の障害が生じやすくなる。

正解 1

▼ 皮膚の解剖



▼ 汗腺

	エクリン汗腺	アポクリン汗腺
主な部位	<ul style="list-style-type: none"> ● 口唇, 亀頭, 陰唇を除く全身皮膚 ● 手掌, 足底, 額に多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 腋窩, 乳輪, 陰部, 外耳道 等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ● 大量の水分を含む汗を分泌し、体温調節を行う。 ● 温熱刺激, 精神的緊張, 味覚刺激等で発汗する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 情緒刺激により発汗する。 ● 粘稠性, 無臭, 体表で細菌に分解されて臭気を放つ。 ● 性的成熟に伴い分泌が活発化する。